

はちまんかまどじんじゃ  
八幡竈門神社

べっぶしうちかまど  
別府市内竈



しゅさいじん  
主祭神

おうじんてんのう  
應神天皇

ちゅうあいてんのう  
仲哀天皇

じんぐうこうごう  
神功皇后

もともと <sup>あまてらすおおみかみ</sup> <sup>くにとこたちのみこと</sup>  
元々は、この山に天照大御神や国常立尊など、

<sup>はしら</sup> <sup>まつ</sup>  
三十三柱の神様をお祀りしていたそうです。

<sup>う さじんぐう</sup> <sup>かんじょう</sup>  
その後、宇佐神宮から勧請し、

<sup>しゅさいじん</sup>  
主祭神の三柱の神様を中心として、

合わせて三十六柱もの神様をお祀りする

<sup>はちまんかまど</sup>  
八幡竈門神社となったそうです。

ここは亀山という山だそうで、白亀伝説(しらかめ?)など

<sup>えん</sup>  
亀に縁のある所でもあるそうです。





はいでん  
上の写真は、拝殿の向かって左側になります。

とても気持ちのいい、やわらかくて、  
神聖なエネルギーを感じる場所でした。

古いイチイガシの木が四本(?)あり、  
ほごじゅ  
別府市の保護樹に指定されているそうです。

こさつおさめしよ  
(「古札納所」と書かれている木を含め、写真の四本の木がそうだと思います。)

気持ちのいいエネルギーは、  
このイチイガシの木々から感じられたようです。

写真右側の赤い鳥居<sup>とりい</sup>の向こうに、

あまてらすすめおおみかみ おおなむちのみこと すくなひこなのみこと  
「天照皇大御神、大己貴命、少彦名命、

うかのみたまのみこと はにやすひめのみこと  
稲蒼魂命、埴安姫命」

ほ<sup>ほ</sup>の<sup>ほ</sup>名前の彫られた五角形の<sup>せきひ</sup>石碑がありました。

まつ<sup>まつ</sup>  
(三十三柱の神様をお祀りしていることを、

しめ<sup>しめ</sup>  
示しているものではないかと思われます。)





神社の正面の参道さんどうに、鬼おにが造つくったとされる石段があります。

最後の一段を造つくりきれなかったそうですが、

何段あるのか、今度行った時に数えてみようと思います。

多くの神社の境内けいだいには、たくさんうの木が植えられています。

杉の木 や イチョウの木 を、よく見かけます。

さんどう とりい さゆう つい  
参道にも、鳥居のように左右に対になって、

植えられているのを見かけますが、普通は同じ種類の木が並んでいます。

はちまんあさみ めおとすぎ  
( 同じ別府の八幡朝見神社にも、「夫婦杉」があります。 )

しかし、ここは 杉の木 と イチョウの木 が対になっていて、

「めずらしいなあ」と思いました。

( 上の写真の石段の両側にあるのが、そうです。 )



それほど高い場所にある神社ではないのですが、

しゃむしよ べっぴわん なが てんぼう  
社務所の奥から、別府湾のいい眺めが展望できます。